

■会告

■日本放射光学会第80回評議員会議事録

日 時：2008年10月18日(土) 14：00～16：30

場 所：理研東京連絡事務所 会議室

出席者：足立伸一，大橋治彦，柿崎明人，加藤政博，鎌田雅夫，
河田 洋，木下豊彦，坂田 誠，澤 博(会計幹事)，
大門 寛，高田昌樹，谷口雅樹，並河一道(議長)，
野村昌治，横山利彦，山本雅貴(行事幹事)，渡辺 巖，
渡邊信久，各評議員
雨宮慶幸(会長)，櫻井吉晴(編集幹事)，百生 敦(庶務幹事)

尾嶋正治(オブザーバー)，下村 理(オブザーバー)

欠席者：朝倉清高，雨宮健太，安藤正海，飯田厚夫，籠島 靖，
北村英男，佐々木 聡，竹田美和，中井 泉，
中川和道，柳下 明，若槻壮市，繁政英治(渉外幹事)

事務局：佐藤亜己奈(WORDS)，西野三和子(WORDS)

議長選出

議長に並河一道評議員を選出した

〈報告事項〉

- 2008年度事業報告
百生庶務幹事より2008年度の活動について報告があった。
- 第22回年会・合同シンポ(JSR09)準備状況
山本行事幹事より2009年1月9日-12日に東京大学本郷キャンパスで開催される第22回年会・合同シンポの準備状況について報告があった。特別企画講演，企画講演のプログラム，タイムテーブル，予算案について説明があった。
- 実行委員長・プログラム委員長の決定時期について
現状では年会・合同シンポの前年6月の組織委員会で実行委員長およびプログラム委員長を正式決定しているが，それでは開催準備がやりにくいと指摘があった。今後は1年半前の組織委員会で次々回年会・合同シンポ開催場所を決定する際に，実行委員長・プログラム委員長候補も含めた提案を採決することが組織委員長(行事幹事)より報告され，了承した。
- 学生発表賞
山本行事幹事より学生発表賞の選考方法，審査基準等について詳細な案が示された。10月25日に行われる第3回プログラム委員会で審議のうえ最終案を決定する。
- 創立20周年記念事業準備状況
百生庶務幹事より創立20周年記念事業のプログラムについて説明があった。また，尾嶋実行委員長より予算案，懇親会，当日配布するパンフレットについて説明があった。具体的な内容について10月28日に行われる実行委員会でさらに検討する。
- 単行本出版準備状況
櫻井編集幹事より単行本「放射光ビームライン光学技術入門～はじめて放射光を使う利用者のために」の先行予約状況に

ついて，9月30日時点で231冊の申込があったこと，企業広告掲載の申込が9頁あったことが報告された。また，収支案，表紙案を確認した。

- 学会誌進捗状況
櫻井編集幹事より，学会誌の進捗状況について報告があった。
- 「放射光」表紙コピーの企業広告ハガキでの無断使用について
櫻井編集幹事より，企業の広告ハガキに「放射光」21-4号表紙のコピーが無断で掲載されていた事が報告された。事実関係の確認を行い，今後このような学会著作物の無断使用はやめるよう申し入れ文を送付することとした。
- 男女共同参画学協会連絡会
百生庶務幹事より，本学会がオブザーバー加盟している女共同参画学協会連絡会の運営委員会の報告があった。女性研究者割合の国際比較が示された。
- Cheiron School & AOFSSR
高田評議員より9月29日-10月8日にSPring-8で行われた2nd AOFSSR Summer School (Cheiron School 2008)について報告があった。また，12月4日-5日にメルボルンで開催される3rd AOFSSR Workshopについて説明があった。
- 「ネットワーク型共同利用・共同研究拠点形成」に係わる5附置研の取り組みへの支援依頼
本学会宛に「ネットワーク型共同利用・共同研究拠点形成」に係わる5附置研の取り組みへの支援依頼が届いたことが報告され，この背景について谷口評議員から補足説明があった。個別に対応をしていると学会として一貫性を欠く可能性があるため，しばらく様子を見て今後検討することとした。
- 会員への案内メール配信について
SPring-8 シンポジウムにて行われる市民講座「放射光科学・技術」の案内を，会員メーリングリストでの配信するよう依頼が届いた。このような案内については会員メーリングリストでの配信はこれまで行っていなかったが，今回は会長判断で配信を許可することとした。また，今後会員メーリングリストの利用規則を整備することとした。

〈審議事項〉

- 2009年度活動方針
2008年10月より2009年度がスタートしたことを受け，会長，幹事より活動方針について所信表明があった。また，百生庶務幹事より2009年度の学会組織(会長，幹事，評議員，各委員会委員)および事業計画について提案があり，承認された。ただし，2009年度の行事のなかで提案された一般向けの講演会については，対象，規模，予算の裏付け等で心配する意見が多く，具体的な計画案については開催の是非も含めてあらためて審議する。
- 会員の異動状況
百生庶務幹事より，第79回評議員会以降の入退会申請者が

示され、入会：正会員42名（うち学生会員31名）を承認した。また、退会：正会員21名，賛助会員2社2口を確認した。2008年10月18日現在での総会員数は1289名（うち学生会員100名），賛助会員49社（51口）。

3. 第13回学会奨励賞選考結果

雨宮会長より学術賞等選考委員会での選考の結果を受け，下記の3名を第13回学会奨励賞の受賞者として推薦する旨の報告があり，これを承認した。

唯 美津木（分子研）「in-situ 時間分解 XAFS 法を駆使した触媒化学の革新」

原田健太郎（KEK-PF）「パルス四極電磁石を用いた新しい入射方式の提案と実証」

三村 秀和（阪大）「放射光用高精度 X 線ミラーの製作とナノビーム応用」

4. 2008年度決算・2009年度予算

澤会計幹事より，2008年度決算案・2009年度予算案について説明があった。次回評議員会で最終案を審議することとなった。

5. 協賛等について

百生庶務幹事より本学会に対する協賛依頼等について報告があり，協賛5件，後援1件を承認した。

6. 放射光施設間ネットワークについて

雨宮会長より，放射光施設間ネットワークについて幹事会で検討中である旨の報告があった。

7. 評議員の任期規則について

雨宮会長より，評議員の任期終了後2年間被選挙権が無い現規則について，学会運営への貢献が大きい多くの会員の関与が2年間も途絶えてしまうことはむしろ学会の損失であるとの考えに基づき，何らかの変更案について検討中であるとの報告があった。

8. 評議員会日程の確認

第81回評議員会 2009年1月9日(土) 12:00-13:00

場所：東大本郷キャンパス

第82回評議員会 2009年4月4日(土) 14:00-16:00

場所：理研東京連絡事務所 会議室

第83回評議員会 2009年7月11日(土) 14:00-16:00

場所：理研東京連絡事務所 会議室

■会員異動

第80回評議員会（2008年10月18日）で承認

《正会員入会》

平木 雅彦 高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所放射光科学研究施設

青木 勝敏 日本原子力研究開発機構量子ビーム応用研究部門
松井 一也 株式会社日東分析センター(日東電工株式会社内)

田口 宗孝 独立行政法人理化学研究所播磨研究所放射光科学総合研究センター励起秩序研究チーム

小林 幸則 高エネルギー加速器研究機構

桑本 滋生 財団法人ひょうご科学技術協会

上村 雅治 清水電設工業株式会社

池田 篤史 日本原子力研究開発機構量子ビーム応用研究部門放射光科学ユニット放射光重元素構造化学研

究グループ

奥村 修一 首都大学東京理工学研究科物理学専攻光物性サブグループ

富田 洋介 大阪大学基礎工学研究科物質創成専攻菅研究室

Voegeli Wolfgang 東京大学物性研究所

以上11名

《学生会員入会》

李 英杰 鳥取大学工学部電気電子工学科電子材料工学研究室

有田 正吾 名古屋大学大学院工学研究科結晶材料工学専攻生田研究室

大久保寿紀 広島大学大学院理学研究科物理科学専攻構造物性研究室

浜谷陽一郎 名古屋大学工学研究科結晶材料工学専攻生田研究室

島倉 宏典 九州大学理学府構造物性

西野 啓之 群馬大学大学院工学研究科電気電子工学専攻伊藤正久研究室

片岡 隆史 東京大学新領域創成科学研究科藤森研究室

橋本 英樹 岡山大学自然科学研究科機能分子化学専攻高田研究室

大場 善明 群馬大学大学院工学研究科伊藤正久研究室（共通講座）

白根 直人 東北大学大学院理学研究科物理学専攻物質構造物理研究室

池本真理子 広島大学大学院理学研究科化学専攻集積化学研究室

山口 淳一 大阪大学大学院基礎工学研究科菅研究室

出田真一郎 東京大学理学系研究科物理学専攻藤森研究室

宮尾 智章 首都大学東京大学院理工学研究科物理学専攻光物性

内海 有希 広島大学理学研究科物理科学専攻光物性研究室

鎌本 啓志 兵庫県立大学大学院工学研究科物質計測学研究グループ

井上 夏樹 兵庫県立大学工学部応用物質科学科物質計測学研究室

片山 哲也 兵庫県立大学工学部応用物質科学科物質計測学研究グループ

花房 篤志 兵庫県立大学工学部応用物質科学科物質計測学研究グループ（村松研究室）

杉山 浩史 大阪大学基礎工学研究科物性物理学専攻菅研究室

八巻 佑樹 東北大学大学院理学研究科物理学専攻物質構造物理研究室

高田 沙織 東京理科大学理学部応用化学科中井研究室

栗田 明宏 名古屋大学工学研究科マテリアル理工学専攻応用物理学分野構造物性物理学講座構造物性工学研究グループ

半田 昌史 東京大学，新領域創成科学研究科，雨宮研究室

長谷中ヒトシ 大阪大学工学研究科電気電子情報工学専攻森研究室

猪上 謙三 金沢大学医学系研究科越田研究室
森 晶子 名古屋大学大学院工学研究科マテリアル理工学専
攻田淵研究室
堤 良輔 大阪大学工学部山内研究室
橋本 琢人 兵庫県立大学大学院物質理学研究科エックス線光
学講座
福田 修悟 広島大学大学院理学研究科物理科学専攻
菊地 匡哉 名古屋大学工学部物理工学科曾田研究室

《退会会員》

正会員21名，賛助会員2社2口

《会員数》

会員1289名（内学生100名） 賛助会員49社（51口）

以上31名

一口メモ

セントポーリア

イワタバコ科セントポーリア属の常緑宿根草で、タンザニア・ケニアに自生する同属二種を中心に育成され、アフリカすみれと呼ばれる園芸植物である。花色の豊富さ、葉に斑の入る品種、八重咲き種、ミニチュア種など多様で、代表的な室内植物である。年間を通じて18-25℃に保つようになると一年中花を観賞できるが、30度以上や5度以下にすると枯死してしまう。

秋晴れの11月の第一土曜日に、学生・院生といっしょに筑波山登山を実施しました。恒例により筑波山神社で安全祈願した後に、ケーブルカーの脇の登山道で山頂に向かいました。つくばエクスプレスが開通後、登山道がよく整備され、私の足でも一時間でケーブルカー山頂駅に到達出来ました。男体山，女体山頂上からは近くには霞が浦，大洗港，遠くには東京の高層建築もかすかに見ることが出来ました。下山にはロープウエー沿いの登山道を利用し，中間点近くの弁慶の七戻り岩付近から神社方面の道を選び，終点の神社に無事に帰ってきました。学生・院生は大学に戻りましたが，私は麓の平沢官ガ遺跡の広場で行われていました創作現代舞踊「蛭」と宗次郎のオカリナコンサートを鑑賞し，楽しみました。

(No. 84, K. Ohshima)



■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2008年 12/9-13	IUMRS アジア国際会議2008	名古屋市国際会議場	日本 MRS E-mail: iumrsica2008@intergroup.co.jp	21・3
12/12	第4回 X 線自由電子レーザーシンポジウム	東京国際交流館 プラザ平成 国際交流会議場	文部科学省, 物理化学研究所, 高輝度光科学研究センター 事務局: 株式会社クバプロ E-mail: symposium@kuba.jp	21・6
12/24- 2009/1/7	ウインター・サイエンスキャンプ'08-'09	大学, 公的研究機関	独立行政法人 科学技術振興機構 E-mail: camp@jsf.or.jp	21・5
1/13	理研シンポジウム「理研和光 RIBF 棟での軟エックス線利用計画」	理化学研究所 RIBF 棟 2 階大会議室	独立行政法人 理化学研究所 E-mail: anakao@riken.jp	21・6
1/19	第18回放射線利用総合シンポジウム	大阪大学中之島センター	社団法人大阪ニュークリアサイエンス協会 公立大学法人大阪府立大学産学官連携機構 E-mail: onsa-ofc@nifty.com	21・6
1/21	表面科学技術研究会2009—進化する太陽電池とトータルエコロジー —省資源・環境・代替—	神戸大学瀧川記念学術交流会館	日本表面科学会関西支部, 表面技術協会関西支部 E-mail: yoneta@dap.ous.ac.jp	21.6
3/17	SPring-8 利用推進協議会 研究開発委員会 先端磁性材料研究会 第1回研究会「次世代 HDD ヘッド, および, MRAM 材料の進展と評価技術」	アジュール竹芝	SPring-8 利用推進協議会 研究開発委員会 E-mail: industry@spring8.or.jp	21・6

本欄では、研究会、シンポジウム、国際会議等のおしらせを募集しております。掲載ご希望の方は事務局までご連絡下さい。一記事の長さは1/2ページ以下を目安とし、様式は事務局で変更させて頂く場合がございます。

■第4回 X 線自由電子レーザーシンポジウム

理化学研究所と高輝度光科学研究センターは、大型放射光施設 SPring-8 に隣接して、国家基幹技術・X 線自由電子レーザー (XFEL) 施設の建設を着々と進めています。また、先行して利用を開始している XFEL プロトタイプ機でも次々と成果が生まれてきています。そこで、XFEL 用の建物・装置の整備状況や、XFEL 完成後に備えて進められている利用推進研究の成果を報告し、今後の多大な成果創出につなげる場として、第4回 X 線自由電子レーザーシンポジウムを下記の通り開催します。

主 催: 文部科学省, 独立行政法人理化学研究所・財団法人高輝度光科学研究センター

日 時: 2008年12月12日(金) 10:00-17:00

場 所: 東京国際交流館 プラザ平成 国際交流会議場
東京都江東区青梅 2-79 (お台場)

参加費: 無料

定 員: 418名 (事前申し込みが必要です)

詳 細: X 線自由電子レーザー計画のホームページ (<http://www.riken.jp/XFEL/>) でご案内いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

■理研シンポジウム「理研和光 RIBF 棟での軟エックス線利用計画」

理研仁科加速器研究センターに、700 MeV の小型電子蓄積リングが設置され、2009年秋から稼働を開始する予定です。本来は電子線と原子核との散乱を研究するためのものですが、放射光ビームラインとしての利用も可能になります。リソグラフィーのビームラインも併設されることとなります。このような施設は関東地区にはあまりなく、和光という地の利を生かした応用研究の展開が期待されます。今回のシンポジウムでは理研仁科センターの電子蓄積リング設置計画を元に、同種の加速器を所有の広島大、立命館大の現状の報告をいただき、当電子蓄積リングでの放射光利用の研究展開を考える契機にしたいと考えております。ご興味をお持ちの方、多数のご参加を期待します。

開催団体: 独立行政法人 理化学研究所

開催期日: 2009年1月13日(火)

開催地: 理化学研究所 RIBF 棟 2 階大会議室
(埼玉県和光市広沢 2-1)

問合せ先：

理化学研究所 先端技術基盤部門 連携支援チーム
担当者名：中尾愛子
TEL：048-467-9357 FAX：048-462-4628
E-mail：anakao@riken.jp

参加申し込み締切日：2008年12月22日(月) ※当日参加も可

参加費：参加費無料。※懇親会は有料。

その他：当日の講演プログラムにつきましては、

<http://www.riken.jp/r-world/research/symposium/index.html>
にて随時更新を行います。

■第18回放射線利用総合シンポジウム

主催：社団法人大阪ニュークリアサイエンス協会
公立大学法人大阪府立大学産学官連携機構

日時：2009年1月19日(月) 10：00-17：00

会場：大阪大学中之島センター（大阪市北区中之島4-3-53）

参加費：5,000円 後援協賛団体会員3,000円

大学・公設機関1,000円 一般市民・学生 無料

定員：100名（定員に達したら締め切ります）参加ご希望の方は、FAX（06-6262-6541）かE-mail（onsa-ofc@nifty.com）でお申し込み下さい。

申込先：社団法人大阪ニュークリアサイエンス協会

〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町2丁目3-6

■表面科学技術研究会2009—進化する太陽電池とトータルエコロジー —省資源・環境・代替—

太陽電池は、太陽からの光エネルギーを直接電気に変え、従来の化石燃料のように燃焼によって二酸化炭素を排出しないため、地球環境問題の視点からも必要性が高まっています。一方で、太陽光発電のペイバックタイムは太陽電池が地球を救う切り札になるか、といった不安も聞かれます。本研究会では、このような状況にあります太陽電池の新たな展開に関してご紹介頂くよう企画いたしました。太陽電池関連研究者・技術者の方をはじめ、多くの方々の参加をお待ちしております。

主催：日本表面科学会関西支部、表面技術協会関西支部

日時：2009年1月21日(金) 13：00-17：30

会場：神戸大学瀧川記念学術交流会館（神戸市灘区六甲台町）

定員：100名 参加費 無料

申込・問合せ先：

〒700-0005 岡山市理大町1-1
岡山理科大学 理学部 応用物理学科
米田 稔
Tel/Fax：086-256-9402
E-mail：yoneta@dap.ous.ac.jp

ONLINE 申込：

<http://www.sssj.org/Kansai/goudou090121.html>

■SPring-8 利用推進協議会 研究開発委員会 先端磁性材料研究会 第1回研究会「次世代HDDヘッド、および、MRAM材料の進展と評価技術」

主催：SPring-8 利用推進協議会 研究開発委員会

日時：2009年3月17日(火) 13：10-17：15（研究会）

17：30-18：30（技術交流会）

会場：アジュール竹芝（〒105-0022 東京都港区海岸1-11-2）

申込方法：

下記WEBページよりお申し込みいただくか

https://support.spring8.or.jp/event/announce/magnetic_090317_form.html

以下を記入してe-mail又はFAXで2009年3月10日(火)までにお申込みください。

（参加費無料。但し、定員60名になり次第締切とさせていただきます。）

件名：先端磁性材料研究会を明記下さい。

①氏名 ②フリガナ ③所属 ④職名 ⑤連絡先（住所、e-mail、電話） ⑥技術交流会〔参加費：1000円〕に（参加するor参加しない）

【申込み先】e-mail：magnetic-ken@spring8.or.jp

FAX 0791-58-0830

問合せ先：

勸高輝度光科学研究センター 産業利用推進室
永井あゆみ/荒木実穂子（industry@spring8.or.jp）
渡辺 義夫（y.wata@spring8.or.jp）
〒679-5198 兵庫県佐用郡佐用町光都1丁目1-1
TEL 0791-58-0924, FAX 0791-58-0830
SPring-8 利用推進協議会 HP URL
<http://www.spring8.or.jp/ext/ja/iuss/>

● 会誌オンライン利用方法に関するご案内

編集委員長 櫻井吉晴

渉外幹事 繁政英治

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックして頂き、会員専用ページにアクセスして頂くことになります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID : jsr216

Password : n6k4wasL

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、[学会誌「放射光」のオンライン閲覧](#)をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等御座いましたら、繁政 (sigemasa@ims.ac.jp) までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、櫻井 (sakurai@spring8.or.jp) までお願いします。